

青森県立保健大学広報誌 活彩！保健大学だより

# Campus Magazine

vol.33

SPRING  
2015

## オープンキャンパス

平成 27 年 8 月 9 日(日)  
10:00 ~ 15:00  
(受付開始 9:30)

※予約制ではありません。多くの方のご来場をお待ちしております。

### プログラム(予定)

- 学科紹介 ● 模擬講義 ● 展示コーナー
- 実習体験・実験コーナー ● サークル紹介
- 在校生による個別相談コーナー



色々な体験が、  
皆さんを待っています！



保健大学の授業を、  
ひと足早く体験できるよ！



美味しいイベントも  
盛りだくさん！



お子さんからお年寄りの方まで、  
みんなで楽しめます！

来て、見て、  
さわって！

保健大学の  
魅力を感じて  
くださいね！



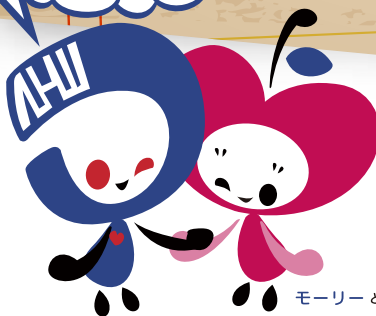
## 大学祭

平成 27 年  
10 月 10 日(土)・11 日(日)

※どなたでもお気軽にお越しください！

## 保護者等(後援会)懇談会

平成 27 年  
10 月 10 日(土)PM



モーリーとリンリン®

## 平成27年度 入学式 平成27年4月4日(土)

青森県立保健大学講堂において、平成27年度入学式が行われ、学部・大学院合わせて248名の新たな仲間を迎えることとなりました。

新入生の名前が一人ひとりと読み上げられ、緊張と期待に満ちた声で返事をする新入生の姿が印象的でした。全員の入学が許可された後、上泉学長から、式辞の中で青森県は短命県返上に向けて県をあげて取り組んでおり、本学も健やか力(ヘルスリテラシー)向上をサポートできる人材の育成に、全学をあげて挑戦していることが紹介されました。入学生代表宣誓では、阿部恵利香さん(栄養学科1年生)が新入生を代表して、夢の実現と社会に貢献できる人材となるために日々成長していくことを誓いました。

新しい仲間を迎えての新たな一年が今年も始まります。本学で一つひとつ経験を積み大きく成長し、それぞれの夢の実現へとつなげていって欲しいと期待しています。



## 新入生研修 平成27年 4月10日(金)・11日(土)



学生自治会長  
看護学科 3年  
篠原 直斗

平成27年4月10日(金)・11日(土)の2日間にわたり、学内及び平川市の南田温泉ホテルアップルランドにおいて、新入生研修が実施されました。この研修は、新入生・上級生・教職員と交流することで、新しい学生生活を円滑に過ごせるように支援することを目的としています。

最初は上級生も新入生に緊張していましたが、新入生に楽しんでもらえるよう様々なレクレーションを行い、新入生と親睦を深めました。去年は1年生だった上級生も大人な顔つきになっていました。新たな大学生活への不安や興味に対して、新入生に最も近い上級生が中心となり、分かりやすく説明をする自由討論の時間も設け、これからの4年間への良きスタートとなりました。色々楽しいことや、挫折することもあります。多くの経験をして、大学生活を過ごしてほしいです。



レクリエーション



学科別自由討論



全体演習



全体演習

## 学生寮 平成27年度 学生寮レジデントアシスタント 一同

学生寮では、レジデントアシスタントと呼ばれる寮生がいます。レジデントアシスタントは、毎年新しく入寮する1年生の寮生たちといっしょに寮生活をしながら、1年生の寮生たちの話を聞いたり、相談に乗ったりしています。



レジデントアシスタントは、寮経験者の中から選ばれることになっていて、今年度は、2年生の女子寮生5名がレジデントアシスタントになりました。

今年度は、男子8名、女子75名、合計83名と、今までにない人数の1年生が寮生として入寮しましたので、私たちレジデントアシスタントは、

● 皆の顔と名前を覚えるのに必死です(笑)

● 今年度は、残念ながら男子のレジデントアシスタントがいませんが、私たち5名と寮母さん、事務局職員の方々やスタッフさん、寮をご担当される先生方のお力もお借りして、1年生の寮生の皆さんが気持ち良く1年間過ごせるよう、サポートしていきたいと考えております。



写真右から、  
会計…… 社会福祉学科2年 山本祐未さん  
会計…… 栄養学科2年 菅原和音さん  
寮長…… 栄養学科2年 下野未来さん  
副寮長…… 栄養学科2年 澤田夏希さん  
副寮長… 社会福祉学科2年 和田春奈さん

# 新入生の近況報告

## 看護学科



佐藤 真澄美

私は入学前、友達作りや看護師としての専門の勉強、さらに初めての一人暮らしにとても不安を抱いていました。しかし、講義の中でのグループワークや、先輩方が企画してくださる泊りがけの新入生研修などで、学年や学科を超えて多くの人と触れ合っていく中でだんだんと不安は薄れていきました。同じ夢に向かって頑張っている友人から毎日たくさんの刺激を受け、今では充実した生活を送っています。先生や先輩方はとても親しみやすく、どんなことでも相談ののってくれます。

看護学科で行われている実践基礎看護技術、看護学概論といった専門科目では将来看護師になるための基本的な勉強をしています。どうすれば患者さんの負担が減るのかを、先生に相談したり友人と話し合ったりしながら、看護師としての自覚を持ち成長していきたいです。

## 理学療法学科



松館 彩華

私は入学前に「大学では自分のやりたいことをやる!」と決意しました。そして今、入学して約一か月、このことを実行できていると思います。理学療法士の勉強をしながら、選択科目で看護などの知識も得ることができています。青森県立保健大学では、他学科と連携する講義・演習もあり、専門的視点からだけでなく他の視点からの意見も聞くことができます。複数の視点から見ることによって、見逃していたことに気づくことができ良い経験になっています。また興味のあるサークル活動に参加し、体力の維持やコミュニケーション能力の向上に努めています。これからは今まで以上に忙しくなり、勉強にも力を入れていかなければなりません。辛いことの方が多く挫折しそうになるかもしれませんが、友人と協力し、切磋琢磨し合いながら、患者から必要とされる理学療法士になるために日々精進します。

## 社会福祉学科



紺野 彩希

四月に青森県立保健大学に入学して一か月が経過した。私は県外出身者なので青森に来て一か月が経過したともいえる。青森に来るのも、一人暮らしを始めるのも初めてで、同じ高校からくる友人もいなかった私にとって青森での大学生活は、不安なものではなかったが、新生活もだいたい落ち着いてきたと思う。今では友達も増え、様々なサークルにも所属し、だいたい毎日が充実してきていると思う。授業は高校よりも難しいと感じる。試験が不安だが復習を行い単位を落とさないようにしたい。

また、高校よりも自由な時間が多いのであいてる時間をうまく使って勉強やバイトを行いたいと思う。4年間で多くのことを吸収して、将来のため頑張りたいと思う。

## 栄養学科



櫻庭 祐実

大学に入学してもう1ヶ月経ちますが、入学後すぐにいろいろな人と関わる事が多く、先生はもちろん、先輩や友達も親切で明るいばかりなので、学生生活の不安はすくなくなりました。学校にも一週間程度で慣れ、今では毎日学校が楽しいです。

授業で特に頑張っているのは、食品学の勉強です。先生が授業で繰り返し言っていることや、大事だと思うところはしっかり復習しています。

また、サークルにもいくつか入りました。保健大は人との関わりを大事にしている学校だと感じて志望したのですが、授業だけでなくサークル等でもその通りだと実感しています。課題や勉強は大変ですが、管理栄養士として働く夢に向かって頑張りたいと思っています。



4月29日に、保健大学内で栄養学科新入生交流会を行いました。2年生有志が企画・運営を行い、運動と食で交流を深めました。

# 学生を支援する体制について



学生部長  
角濱 春美

### 【身体と精神の健康を守る】

主に保健室で学生の相談に乗っています。また、落ち着いたカウンセリング室があり、カウンセラーに困りごとや悩みを相談することもできます。現場での実習が多いという本大学の特殊性に合わせ、予防接種の推進なども行っています。

### 【自立した生活ができるよう支援する】

授業料減免や奨学金を公正に適用できるように体制を整えています。大学生は高校時代と違い、格段に自由度の高い生活を送ることになります。事件や事故に巻き込まれるリスクも高まるため、入学時に手厚い「学生生活支援プログラム」教育を行っています。本年は、詐欺などに合わないための教育、ゴミ捨てるルール、護身術、自らの健康を守る方法、ネットリスクに対する対応などの研修を行いました。

### 【充実した体験を積み重ねることができるようにする】

学園祭やサークル活動、卒業記念パーティーなどについて、学生を主役としながらも、安全に実施できるように学生委員会の担当委員がサポートしています。サークル活動を推進し、ボランティア体験ができるようにコーディネートするなど、充実した体験ができるように支えています。

### 【目指す資格に合格し、望む就職ができるように支える】

国家試験に合格できるように、各学科がその国家資格に合わせた支援を行っており、高い合格率を維持しています。就職対策については、本学学生のみが対象の説明会を開催しています。また、学年進行に沿い、就職活動セミナーや本学の卒業生を招いたガイダンスなどを開催しています。高い就職率を維持するとともに、満足できる就職ができるように支えています。

# 保健室から



保健嘱託員  
大里 美佐子

### 【大学生だって「早寝・早起き・朝ごはん」で健やか力を高めよう】

睡眠不足による朝寝坊と、朝ごはん抜きの登学はみなさんの活力を失わせ、学力、体力低下・ひいては、精神的にも乱れを生じさせていきます。「早寝・早起き・朝ごはん」の規則正しい生活習慣を実行することは、その日の活動・行動の質を上げ、あなたの「健やか力」を高めます。みなさんは、(眠る)=(寝る)ことだと思いませんか?寝ることは一時的な休息でしかなく、本来(眠る)とは休息よりも一歩進んだことと体の回復を指します。より良い睡眠は、疲労回復や免疫力の向上、記憶力の定着やストレスの除去ができます。

本学では、今年度県民の健やか力向上をめざして、「健やか力(ヘルスリテラシー)向上サポート宣言」をいたしました。その出発点は自分自身。「早寝・早起き・朝ごはん」を実行し、まずは自らの生活習慣を確立させることから始めましょう。「君たちはどうかいたずらに時を過ごすことなかれ」の吉田松陰の名言を胸に、保健室でみなさんを見守っている私は、日々充実した活力に満ちた時を刻むことを待望します。

学生相談の受付窓口は **保健室**

大学生活を送る中で、生きづらさや不安を抱えてしまうことがあるかもしれません。そんなときは、学生相談を利用して考えを整理することをお勧めします。学生相談を上手に利用することも時間を有効に使うことにつながります。

## 看護学科



### 老年看護援助論I

この授業では、装具を着用し高齢者の身体機能を体験することにより、高齢者への理解を深めています。



### ベーシックヘルスアセスメント

身体全体の状態を把握するために必要な手技を身につける授業です。シミュレーターも活用して理解度を深めています。



看護学科長  
大関 信子

### 勉学の前に「気」を整えよう

新学期を迎え、キャンパスは学生さんたちで賑わっています。さて、最近、気になることがあります。「気」が抜けている学生さんを多く見かけるようになりました。これでは、国家試験も就職活動もうまくいきません。

一人暮らしをしている学生さんたちは、ご飯を炊いて3食きちんと食べているのでしょうか。ご飯さえあれば、何とかあります。卵も特売では10個100円で買えます。あとは、お肉と野菜を炒めたり、または魚の缶詰でもOK。そこに野菜たっぷりの味噌汁があれば完璧。おやつは、ヨーグルトや青森特産のりんご。

保護者の皆様、お子さんたちに健康な食生活が送れるよう、食材の買い方等、食費を抑えながら最大限の健康を得る知恵を伝授してください。教員も心がけていますが、自宅の中までは入っていきません。食堂のごみ箱に山と積まれたカップ麺の空の容器を見るたびに、学生さんたちの体のことを心配してしまいます。「気」が入る食生活で「気」が入った学生さんたちでキャンパスが溢れることを願っています。

### 平成26年度卒業生 近況報告



青森市保健所  
健康づくり推進課  
保健師  
泉谷 綾乃

私は現在、青森市保健所健康づくり推進課にて保健師として従事しています。日々の業務としては乳幼児健診、新生児訪問、特定保健指導訪問などを行っており、その他、自分の主担業務としてたばこ対策事業などにも取り組んでいます。入職して2ヶ月、日々自分の至らなさを感じながらも、よりよい業務ができるよう勉強に励んでいます。

在学生のみなさんも日々の授業やテスト、実習など大変なことも多いと思いますが、学生時代に学んできたことは必ず役に立つと思います。頑張ってください!

## 理学療法学科



### 義肢装具学実習

義肢装具学実習は、理学療法の臨床場面で使われる義足や装具について、実習を通して学びます。特に最近では、脳卒中片麻痺に対する下肢装具はもちろんのこと、糖尿病や動脈硬化症に起因する血行障害による切断者が多いため、下肢義足についても多くを学習しています。



### 理学療法学科の特長



理学療法学科長  
岩月 宏泰

本学科では1学年30名の定員に対して、医師、理学療法士などの専任教員が最先端の医学、理学療法学理論及び技術の実践について指導しています。また、学年担任制をとっているため、担当教員は学部生の様々な相談に親身に応じており、学生生活支援にも力を入れています。さらに、理学療法についての臨床能力を高めるために、

教材開発、演習形式の授業の展開、臨床実習の充実などの取り組みも実施し、効果を上げています。このように本学科では、学部生が将来理学療法士として、地域でヒューマンケアに根ざした理学療法を展開できるよう情熱的に指導するほか、大学院教育も充実させており研究活動にも積極的に支援しています。

### 平成26年度卒業生 近況報告



北部広域事務組合公立野辺地病院  
リハビリテーション科  
理学療法士  
大山 紗季

私は高校1年生のとき、怪私の治療のために受けたリハビリテーションがきっかけで理学療法士という職業に興味を持ち、保健大学に入学しました。大学生活では、学校祭などの行事の他に、ビーチサッカーやキャンプに参加したり卒業旅行で九州に行ったりと、ここには書ききれない程の思い出があり、理学療法学科のみんなと充実した4年間を送ることができました。その中で、一番大変だったのは国家試験の勉強でした。卒業研究が終わってから試験勉強を始め、模試の点数が思うように伸びず辛くなって弱音を吐いたこともありましたが、一緒に勉強する仲間がいたことで最後まであきらめず勉強することができました。現在は入職し、患者様の生活・自宅復帰を支援していくという責任感を抱いて日々治療に取り組んでいます。今後は高校生から続けているハンドボールと仕事を両立し、またアスレチックトレーナーの資格を取得しスポーツ分野に関わることで理学療法士を目指していきたいと思っています。

## 社会福祉学科



### 社会福祉学科 1 年生

学生生活にもだいぶ慣れてきたようです。実習や青森県鷹ヶ沢町でのフィールドワークを控え、これからますます忙しくなっていきます。



### ソーシャルワーク論 I

1 年次の必修授業です。ソーシャルワーク実践に必要な基礎知識を学び、対人援助について講義形式で学習します。



社会福祉学科長  
出雲 祐二

### 「知識」とともに「知識の使い方」を

社会福祉学科は、社会福祉の専門職である「社会福祉士」と「精神保健福祉士」を養成する学科ですが、教育の中ではこれらの国家試験対策ばかりではなく、社会福祉の現場で活躍できる有能な人材の育成に力を入れています。国家試験では知識が試されますが、現場では何よりもコミュニケーション能力と判断力が求められます。

ところで、こうしたコミュニケーション能力や判断力はどのように習得できるのでしょうか。おそらくコミュニケーションに関する万巻の書物を読んだとしても、その説明はできても、実際に使うことはできないでしょう。判断力に至っては、相手も状況も異なるので一般的な規則性さえ見出すことは困難かもしれません。したがってこうした能力を養うためには、実践あるのみです。社会福祉学科では、演習や実習という「知識の使い方」を実践する場を設けて、学生さんのコミュニケーション能力と判断力を養うことに力点を置いています。

### 平成 26 年度卒業生 近況報告



西北地方福祉事務所  
佐藤聖華

私は青森県職員に福祉職として採用され、現在は西北地方福祉事務所で働いています。仕事内容は、生活保護受給者の相談支援や、関係機関との連絡調整、保護費支給にかかわる処理等です。覚えることがたくさんで戸惑いの連続ですが、先輩方の指導のもと頑張っています。

在校生の皆さん、授業や実習など忙しく感じるかと思いますが、大学で学んだことはソーシャルワーカーとして働いていくための土台になると思うので頑張ってください。

## 栄養学科



### 臨床栄養学実習 II

高齢者疑似体験セットを着用し、自助食器の使用と介助について学んでいます。



### 食品学実験 III

レオメーターを使用して食品(ここではリンゴ)の硬さを測っています。



栄養学科長  
佐藤 伸

### 栄養学科は、「食と健康の専門家」を育てます!

栄養学科は、北東北で唯一の公立大学の管理栄養士養成校として歩んでいます。本学科の目標は、地域の健康づくりを支えたり、人々の健康の維持・増進、疾病の予防・回復に努めたり、また、子供たちの健やかな成長を支援する食育を実践できる管理栄養士—「食と健康の専門家」—を育てることです。

今春、栄養学科は4期生を無事に社会へ送り出すことができました。卒業生は管理栄養士として医療、福祉、行政等の分野で活躍することでしょう。卒業生の多くが希望した分野へ就職できたのは、自分たちの目標を見据えて励んできた努力の結果といえます。もちろん、保護者の皆様や地域の皆様の支えがあってこそその結果でもあります。

栄養学科は、4月に新入生を迎え、今年も「食と健康の専門家」を目指して学生たちとともに歩んでいきます。保護者の皆様、地域の皆様、そして同窓生の皆様、どうぞ、栄養学科への変わらぬ応援をよろしくお願い致します!

### 平成 26 年度卒業生 近況報告



弘前脳卒中・リハビリテーションセンター  
栄養室  
三浦 みこと

私は、管理栄養士として弘前脳卒中・リハビリテーションセンターの栄養室に勤務しています。主な仕事は栄養アセスメントや栄養指導で、集団栄養教室も行っています。特に、「食事のバランス」「減塩」の指導は重要です。

就職してまだ1ヶ月、覚えることが多くて混乱しそうになったこともありますが、日々成長できているのが実感でき、とても充実しています。また、患者様と接することができる臨床での仕事は自分の希望だったので、毎日うれしく過ごしています。

今後は、一人前になって担当病棟を持たせてもらうように早く仕事を覚えたいです。そして、患者様や他職種の方々から信頼される管理栄養士になりたいです。そのためにも、もっともっと頑張りたいと思っています。

# 青森県立保健大学後援会より



後援会会長  
高田 一憲

後援会会員の皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度も後援会会長を務めさせていただくことになりました高田です。

本学は開校以来17年が経過しましたが「ヒューマンケア」を志し、実践的な社会人育成に向けた専門性の高い大学として、着実にその存在感を高めてきております。

後援会では皆様のご理解をいただき、国際交流や講師招致、サークル活動など様々な場面で支援を行っております。学生はケア付きねぶたやボランティア等にも積極的に参加し、日々活躍しています。

後援会として会員の皆様のご協力のもと、学生の成長を温かく見守っていきたくと考えておりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## 平成27年度後援会役員名簿

<b>会 長</b>	高田 一憲	栄養学科4年	<b>理 事</b>	岩崎 久暢	看護学科2年
<b>副会長</b>	佐藤 金司	理学療法学科4年		大澤 琢哉	理学療法学科2年
	藤田 義幸	看護学科3年	<b>監 事</b>	神 悦子	看護学科4年
<b>理 事</b>	織田 大助	社会福祉学科4年		中村 純子	理学療法学科1年
	大坂 大	社会福祉学科3年	<b>顧 問</b>	角濱 春美	学生部長
	石川 武	栄養学科3年			

## 後援会 決算、予算

### 平成 26 年度 後援会決算書

(収入の部) (単位:円)				
項 目	予算額(A)	収入額(B)	比較(B-A)	摘 要
1 会費収入	11,947,500	11,910,000	△ 37,500	@50,000×227人(学部学生) @25,000×9人(編入学生:看護) @37,500×2人(編入学生:社福) @20,000×13人(大学院生)
2 前年度からの繰越金	20,068,895	20,068,895	0	
3 雑収入	2,968	2,003	△ 965	預金利息等
合 計	32,019,363	31,980,898	△ 38,465	

### 平成 27 年度 後援会予算書

(収入の部) (単位:円)				
項 目	(A)26年度予算	(B)27年度予算	比較(B-A)	摘 要
1 会費収入	11,947,500	11,957,500	10,000	@50,000×230人(学部学生) @25,000×5人(編入学生:看護) @37,500×1人(編入学生:社福) @37,500×2人(編入学生:栄養) @20,000×11人(大学院生)
2 前年度からの繰越金	20,068,895	20,928,054	859,159	
3 雑収入	2,968	2,003	△ 965	預金利息等
合 計	32,019,363	32,887,557	868,194	

(支出の部) (単位:円)				
項 目	予算額(C)	支出額(D)	比較(D-C)	摘 要
1 会議費	81,000	30,000	△ 51,000	後援会総会・理事会等出席に係る役員の交通費
2 事務費	91,000	89,852	△ 1,148	保護者懇談会開催案内等送料他
3 事業費	11,894,000	10,932,992	△ 961,008	
(1)サークル活動助成費	1,294,000	1,366,237	72,237	自治会活動費、サークル助成費
(2)大学祭等助成費	1,500,000	1,500,324	324	大学祭運営費
(3)会報誌作成費	145,000	129,152	△ 15,848	
(4)学生福利厚生費	1,798,000	1,430,578	△ 367,422	肝炎検査、貧血検査、実習に係る諸検査費用
(5)国際交流助成費	100,000	86,585	△ 13,415	仁済大学(韓国)へ学生派遣
(6)就職対策費	320,000	171,202	△ 148,798	4年生対象ガイダンス、3年生対象ガイダンス
(7)卒業関係助成費	3,870,000	3,674,501	△ 195,499	卒業関連事業助成、卒業研究助成、特別・課題研究助成
(8)新入生研修費	2,817,000	2,535,549	△ 281,451	新入生に対する学内研修及び学科別交流に要する昼食代等
(9)その他	50,000	38,864	△ 11,136	大学院生関連事業
4 予備費	100,000	0	△ 100,000	
小 計	12,166,000	11,052,844	△ 1,113,156	
5 次年度以降事業費	19,853,363	20,928,054	1,074,691	
合 計	32,019,363	31,980,898	△ 38,465	

(支出の部) (単位:円)				
項 目	(C)26年度予算	(D)27年度予算	比較(D-C)	摘 要
1 会議費	81,000	81,000	0	後援会総会・理事会等出席に係る役員の交通費
2 事務費	91,000	100,000	9,000	保護者懇談会開催案内等送料他
3 事業費	11,894,000	11,676,000	△ 218,000	
(1)サークル活動助成費	1,294,000	1,393,000	99,000	自治会活動費、サークル助成費
(2)大学祭等助成費	1,500,000	1,500,000	0	大学祭運営費
(3)会報誌作成費	145,000	145,000	0	「活彩!保健大学だより」作成・発送費の後援会負担分
(4)学生福利厚生費	1,798,000	2,081,000	283,000	肝炎検査、貧血検査、実習に係る諸検査費用
(5)国際交流助成費	100,000	25,000	△ 75,000	国際交流に係る経費
(6)就職対策費	320,000	320,000	0	4年生対象ガイダンス、3年生対象ガイダンス
(7)卒業関係・国家試験対策関係助成費	3,870,000	3,645,000	△ 225,000	卒業関連事業助成、卒業研究・国家試験対策助成、特別・課題研究助成
(8)新入生研修費	2,817,000	2,517,000	△ 300,000	新入生の学外での宿泊研修に係る宿泊費等
(9)その他	50,000	50,000	0	大学院生関連事業
4 予備費	100,000	100,000	0	
小 計	12,166,000	11,957,000	△ 209,000	
5 次年度以降事業費	19,853,363	20,930,557	1,077,194	
合 計	32,019,363	32,887,557	868,194	

※次年度への繰越金 20,928,054 円(総収入 31,980,898 円 - 総支出 11,052,844 円)

# 退職・新任の教員から 一言メッセージ

## 退職

### 看護学科

- 中村 由美子
- 織井 優貴子

『人生の最も苦しいいや辛い損な場面を真っ先に微笑みを以って担当せよ』私の母校のモットー「研究第一主義」。すなわち「研究の場での教育」実践。研究環境を整えることは教育実践の第一歩。努力は惜しみません。

- 吹田 夕起子
- 伊藤 治幸

平成 27 年の 3 月で本学を去る事となりました。8 年間の青森での生活は長いようで今振り返るとあっという間に感じます。青森での生活を忘れることなく今後に精進したいと思います。皆さまの今後のご活躍を心より楽しみにしております。

- 宗村 弥生

熱心で誠実な保健大学の学生さんと共に学ぶのが楽しい 5 年間でした。すっかり第二の故郷となった自然豊かな青森の地とも離れがたいですが、何よりこんなにすばらしい学生さんと離れるのがとても残念です。本当にありがとうございました。

- 佐々木 雅史

在職中の 7 年間、常に「学生に育てられている」という気持ちでおりました。保健大学の学生の皆様、保護者の皆様、本当にお世話になりました。深くお礼申し上げます。

- 瓜田 学

本県出身の劇作家、寺山修二が語る「さよならだけが人生ならば・・・」は人生の中で別れをどう解釈するかを問いかけてきます。今日の別れを、次に会う時の喜びに繋げられるように頑張ります。ありがとうございました。

### 理学療法学科

- 桜木 康広

1999(平成 11)年の開学以来、16 年間、在学、卒業生、教職員の皆さまに御迷惑を掛けながら、大変お世話になりました。この場を御借りして、深く感謝申し上げます。

- バリー カヴァナ

### 社会福祉学科

- 入江 良平

私の保健大学赴任は開学の平成 11 年。あのころ白紙だった保健大も 16 年たって、青森県の保健医療福祉領域に根付き、地域から信頼される教育・学術機関となりました。思い返せば感慨無量。更なる発展を祈念します。

- 千葉 たか子

定年ということ、「第二の人生は？」と聞かれる。定年後に始まるのを、第二の人生と思ったことはない。これまでに、何回か曲がり角に遭遇した。曲がった先にあるのが、いつも良いこととは限らない。曲がっても曲がらずとも、自己決定・自己責任の世界である。

- 増山 道康

青森で 11 年を過ごした。当初は雪の多さに驚いたが、それにも慣れ、春から秋は折々の季節を楽しめた。特に弘前城の桜と青森ねぶたは、印象深い。いつまでも記憶にとどめていたい。本当にお世話になりました。

### 外国語学講師

- アーネスト メイ

## 新任

### 特任教授

- 大西 基喜

青森県に来て 12 年、これまで行政や病院が現場でしたが、ヘルスリテラシー推進が特命ということで、これからは教育・研究の場で、地域貢献もしっかり織り込みながら仕事をしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

### 看護学科

- 佐藤 しのぶ

4 月から看護管理学領域で、看護マネジメント論、看護マネジメント実習、看護統合実習他、卒業研究などに関わっております。長い臨床経験も、学生さんのお役に立てると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

- 金野 将也

看護学科 成人看護領域 助手に着任しました金野と申します。保健大学卒(8 期生)で臨床では外科・内科混合病棟で 5 年間勤務していました。担当科目は経過別看護援助実習Ⅰ、Ⅱです。よろしくお願いいたします。

- 外崎 裕梨

今年度より成人看護学領域の助手として着任いたしました外崎裕梨です。保健大学を卒業後、看護師として働いておりました。学生が充実した大学生活を送られるよう支援してまいります。よろしくお願いいたします。

### 理学療法学科

- マイケル スミス

始めまして。マイケル(マイク)・スミスです。母国はカナダで、2005 年に来日しました。4 月から青森県立保健大学で English A~D を教えることになりました。この大学と学生はとても明るくていい雰囲気の影響を受けました。これからも、学生たちが日常的に英語を使えるように面白い授業を行いたいと思います。どうぞ、宜しくお願いします。

### 社会福祉学科

- 児玉 寛子

青森の豊かな風土のなかで教育・研究活動に携われることをうれしく思っております。皆さまからのご協力とご理解をいただきながら、地域に根ざした大学としての使命を果たせるよう努力してまいります。

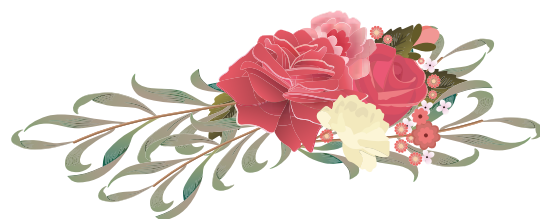
- 岡田 敦史

本年度より心理学を担当します。カウンセリング心理学の研究から得た知見は対人援助職の核となる態度です。大学では知らなかったことを知っていく過程に意義があります。広く教養を身につけましょう。

### 外国語学講師

- ジェイコブリチャードソン

はじめまして。私はジェイコブ・リチャードソンと申します。アメリカのシカゴから来ました。青森県立保健大学で学生の英語のコミュニケーション改善に貢献できることを楽しみにしています。更に国際的視野を育てていきましょう。



## 平成 27 年度 年間スケジュール

4月	5月	7月	8月	9月	10月	1月	2月	3月
入学式 	公開講座	前期試験 「健やか力(ヘルスリテラシー)向上サポート宣言」スタートアップフェスタ(7/4)	ケア付き青森ねぶた(8/3) オープンキャンパス(8/9)	集中講義 後期スタート(9月末)	大学祭(10/10,11) 保護者等(後援会)懇談会(10/10)	後期試験	集中講義 退官記念講演	卒業証書学位記授与式(3/9)
新入生研修 								

# 国家試験合格率

## 看護学科

**看護師 98.1%**  
(合格者 104名 / 受験者 106名)

**保健師 100%**  
(合格者 117名 / 受験者 117名)

**助産師 100%**  
(合格者 3名 / 受験者 3名)

## 理学療法学科

**理学療法士 100%**  
(合格者 33名 / 受験者 33名)

## 社会福祉学科

**社会福祉士 69.4%**  
(合格者 34名 / 受験者 49名)

**精神保健福祉士 100%**  
(合格者 14名 / 受験者 14名)

## 栄養学科

**管理栄養士 96.9%**  
(合格者 31名 / 受験者 32名)

社会福祉士の合格率は**全国第5位**  
(受験者 40名以上の全国の養成校 81校中)でした

4種以上  
100%になったのは  
過去最多なんだって!



# 就職サポート・就職率

## 平成27年度就職説明会 開催スケジュール

- **看護・社会福祉・栄養学科対象 [県内]**  
平成27年5月16日(土) 本学交流センター
- **看護・社会福祉・栄養学科対象 [県外]**  
平成27年6月13日(土) リンクステーションホール青森
- **理学療法学科対象 [県内・外]**  
平成27年7月18日(土) 本学交流センター

昨年もたくさんの施設・病院様にお集まりいただき  
盛況のうちに就職説明会を開催しました。



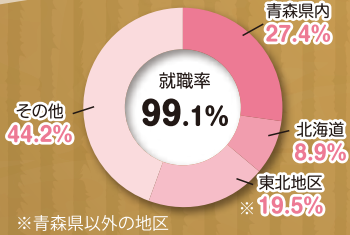
平成26年5月31日(土)  
リンクステーションホール青森



平成26年6月7日(土)  
本学交流センター

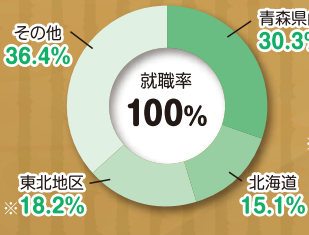
## 就職率

### 看護学科

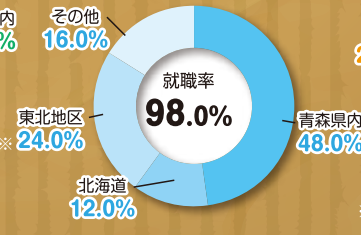


※青森県以外の地区

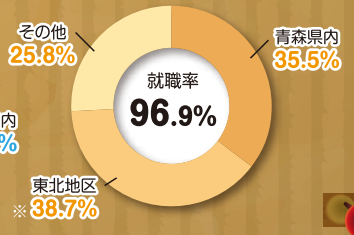
### 理学療法学科



### 社会福祉学科



### 栄養学科



大学院健康科学研究科長  
吉池 信男

## 大学院への誘い

大学の両輪は「教育」と「研究」です。両者をつなぐ役割を「大学院」が担っています。本学の大学院の特徴の一つに、4つの学科を基盤とする保健・医療・福祉分野の専門職の方（卒業生も多数います）が、より高い専門性や研究を通じた課題解決を目指し、実践の場で働きながら学んでいることがあります。また、学部4年間のうちに、各研究室で教員や大学院生とともに研究を行うことも、貴重な経験となるでしょう。是非とも、大学院でどのような研究が行われているかについても、関心をもっていただきたいと思います。

## 健康科学部

青森県立保健大学大学院  
健康科学研究科 健康科学専攻

### 博士前期課程

[Master]

●収容定員:30名(入学定員10名) ●修業年限:2年(社会人長期在学コースは3年) ●学位:健康科学修士・社会福祉学修士・看護学修士

青森県立保健大学大学院  
健康科学研究科 健康科学専攻

### 博士後期課程

[Doctor]

●収容定員:12名(入学定員4名) ●修業年限:3年 ●学位:健康科学博士

※年2回の入学者選抜(10月、2月を予定)については、ホームページ等の情報をご覧ください。

発行：青森県立保健大学 広報委員会・青森県立保健大学 後援会



公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

青森県立保健大学